

平成23年度決算

→ 上下水道局のお財布事情をご紹介します 

お問い合わせ 財務課 ☎044-200-3105 〆044-200-3982

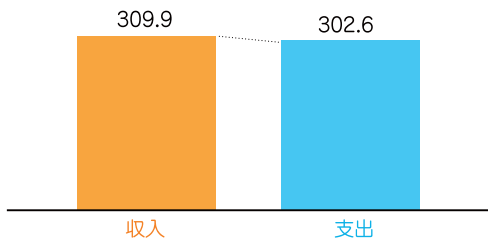
上 水道事業

水道は、市民の快適な生活や産業活動の進展に欠くことのできない都市の基幹施設であり、安全で良質な水を安定して供給するとともに、地震対策の推進など、災害時における安定給水の確保を目指し、耐震化を考慮した水道施設の更新に取り組んでいます。

水需要については人口が年々増加しているものの、節水型社会構造への変化などからほぼ横ばいで推移しています。

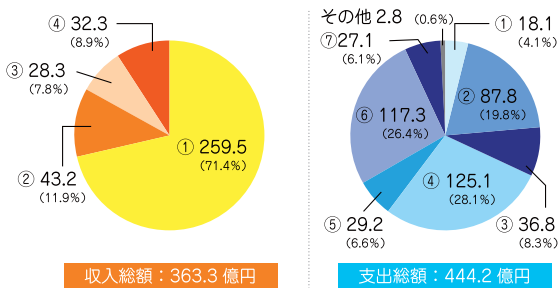
財政面では、行財政改革などによる経費節減を推進したことにより、当年度純利益が7.3億円生じましたが、今後も、再構築計画や施設の耐震化などに伴う建設改良費が増大することから、一層の経営の健全化を推進していきます。

▶ 経営活動に伴い発生する収入と支出 (税抜き額 / 単位: 億円)



▶▶ 収入 309.9 億円 - 支出 302.6 億円 = 当期純利益 7.3 億円

▶ 水道事業における収入総額と支出総額 (税込み額 / 単位: 億円)



- 収入**
- ① 水道料金
 - ② 東京都からの分水負担金や、下水道徴収費繰入金など
 - ③ 災害対策事業に対する補助金など
 - ④ 水道施設の整備・改良のための借入金

- 支出**
- ① 水源から浄水場まで原水を運ぶ費用
 - ② 神奈川県内広域水道企業団からの受水にかかる費用
 - ③ 原水を水道水にするため浄水場でかかる費用
 - ④ 水道水を浄水場からお客さままで配る費用
 - ⑤ メーター検針、料金徴収などの営業に関する費用
 - ⑥ 水道施設の整備・改良のための費用
 - ⑦ 水道施設の整備などのため借入した企業債の元金償還金

収入 363.3 億円 - 支出 444.2 億円 = 差引 △80.9 億円

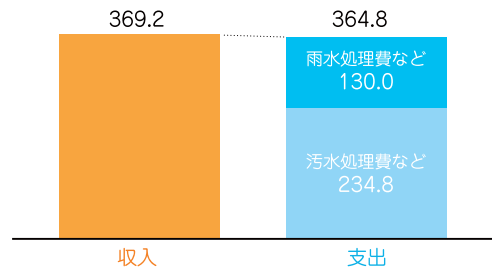
収支不足額については、過年度分損益勘定留保資金等で対応しました。

下 下水道事業

下水道は、快適な生活環境の実現と公共用水域の水質保全及び雨水排除のために欠かせない基幹施設であり、下水道機能の維持向上を図るための維持管理と更新、建設整備に取り組んでいます。

財政面では、これまでの事業運営の効率化などにより、前年度に引き続き当年度純利益が4.4億円生じましたが、過去の建設投資の影響により、いまだ企業債未償還残高が高い水準にあり、依然として厳しい財政状態にあることから、今後も引き続き経営の自立に向け、より一層の経営の効率化を推進していきます。

▶ 下水道処理の費用負担のしくみ (税抜き額 / 単位: 億円)

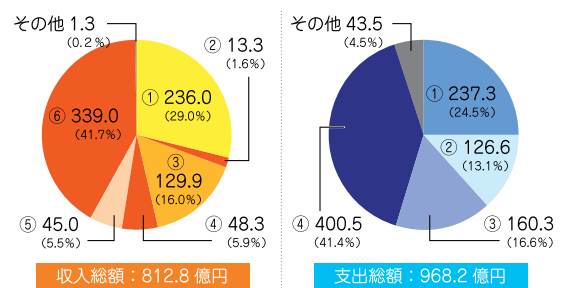


▶▶ 収入 369.2 億円 - 支出 364.8 億円 = 当期純利益 4.4 億円

【汚水私費・雨水公費の原則】

下水道施設などを管理する費用には、使って汚れた水をきれいに浄化する**汚水処理費**と、ご自宅や道路などに降った雨水をすみやかに排除する**雨水処理(浸水対策)費**があります。受益者負担の考えから、汚水処理費は**下水道使用料(私費)**で、雨水の排除は**税金(公費)**で負担するしくみとなっています。

▶ 下水道事業における収入総額と支出総額 (税込み額 / 単位: 億円)



- 収入**
- ① 下水道使用料
 - ② 汚水にかかる一般会計負担金など(福祉施設に対する減免等)
 - ③ 雨水処理等にかかる一般会計負担金など
 - ④ 下水道施設の整備や元金償還にかかる一般会計出資金など
 - ⑤ 下水道施設の整備にかかる国庫補助金
 - ⑥ 下水道施設の整備および企業債の償還にかかる借入金

- 支出**
- ① 汚水処理にかかる費用
 - ② 雨水の排除などにかかる費用
 - ③ 下水道施設の整備・更新のための費用
 - ④ 施設の整備などのため借入した企業債の元金償還金

▶▶ 収入 812.8 億円 - 支出 968.2 億円 = 差引 △155.4 億円

収支不足額については、当年度分損益勘定留保資金等で対応しました。